IV. ながばのいたちしだ群 Sparsa-type

なかばのいたしだ *D. sparsa*

V. ながさきしだ節 *Eu-dryopteris* Sect. *Pycnopteris* (MOORE) C. CHRISTENSEN

ながさきしだ *D. Sieboldii*

VI. いたちべに節 *Eu-dryopteris* Sect. *Erythro-variæ* H. ITÔ

i. いたちべに群 Erythro-variæ-type

いたちしだ *D. varia*

よごれいたちしだ *D. sordidipes*

たんなべにしだ *D. Taquetii*

べにしだ *D. erythrosora*

とうごくしだ *D. cystolepidota*

なんかいいたちしだ *D. Yabei* var. *Ogawai*

ii. いたちしだもどき群 Formosana-type

いたちしだもどき *D. formosana*

終リニ臨ミ本研究ニ對シ懇篤ナル御指導ヲ賜ツテ居ル中井教授ニ對シ、併セテ色々ト分類上ノ助言ヲ與ヘラレタ伊藤洋氏ニ對シ深ク感謝ノ意ヲ表スル。

さはおとぎりノ群 (其二)

木村陽二郎

Yojiro KIMURA: Sur la groupe d'*Hypericum pseudopetiolatum* (II).

3. コノ群ニ屬スル種ノ變種及ビ品種一覽

(Liste des éspèces et des variétés de cette groupe)

2) ニ述ベタモノヲ一覽シテ示セバ次ノ通リ

1) *H. pseudopetiolatum* KELLER	さはおとぎり
1a) var. *typicum* Y. KIMURA	さはおとぎり
f. *vulgaris* Y. KIMURA	さはおとぎり
f. *elatum* Y. KIMURA	せいたかさはおとぎり
f. *parvifolium* Y. KIMURA	こばのさはおとぎり
f. *montanum* Y. KIMURA	みやまさはおとぎり

1b) var. *taihezanense* Y. KIMURA たいわんあぜおとぎり
1c) var. *kiusianum* Y. KIMURA ながさきおとぎり
1d) var. *Muraianum* Y. KIMURA いわておとぎり
f. *suberectum* Y. KIMURA いわておとぎり
f. *nigrostriatum* Y. KIMURA さはおとぎりもどき
f. *kosiense* Y. KIMURA こしおとぎり
2) *H. yakusimense* KOIDZUMI やくしまこおとぎり
f. *typicum* Y. KIMURA やくしまこおとぎり
f. *lucidum* Y. KIMURA やくしまおとぎり
3) *H. Kinashianum* KOIDZUMI みやこおとぎり
3a) var. *typicum* Y. KIMURA みやこおとぎり
3b) var. *umbrosum* Y. KIMURA ひかげおとぎり
3c) var. *longistylum* Y. KIMURA まるばおとぎり
4) *H. penthorodes* KOIDZUMI たこあしおとぎり
f. *typicum* Y. KIMURA たこあしおとぎり
f. *lucidum* Y. KIMURA めいてんたこあしおとぎり
5) *H. oliganthum* FR. et SAV. あぜおとぎり
5a) var. *typicum* Y. KIMURA あぜおとぎり
5b) var. *nigrum* Y. KIMURA くろてんあぜおとぎり

4. 此ノ群ノ特徴及ビ種，變種ノ形態ノ關係

(Caractères et relations morphologiques de cette groupe)

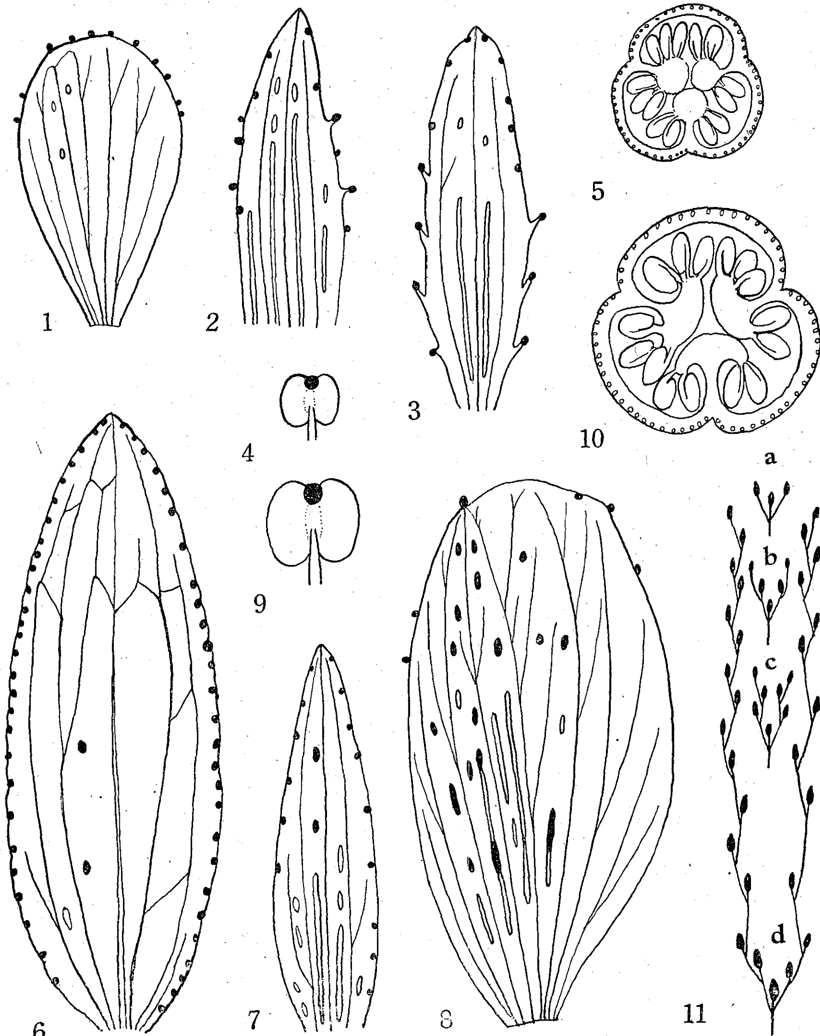
莖ハ叢生シテ擴ガリ又枝分レガアルカラ相當カタマツテ生エテキル。特ニやくしまこおとぎり* ナドハ脊モ低ク土地ヲ全ク覆ツテキルシあぜおとぎりモ地上ヲハツテキル。シカシみやこおとぎり* デハ通常莖ハ單一デ枝分レモ少ナク稍〻おとぎりさうノヤウニナツテキルガ軟弱デアル。**葉**ハ倒卵形又ハ長倒卵形デ上端ハ圓イカ少シ凹ミアル鈍頭ヲナシ基部ハ稍〻延ビテ細マリ莖ニ接シ或ハ少シク葉柄ノ如クニナツテキル。コノ形ガ普通デアリさはおとぎり* やくしまこおとぎり*、少シク葉形ヲ異ニスルガあぜおとぎり*、まるばおとぎりハ皆コノ形デアル。シカシみやこおとぎり、ひかげおとぎり、たこあしおとぎりハ葉ノ形ガ長クナツテ線狀長楕圓形デアルケレドモ上端圓ク基部細マル事ニ變リハナイ。葉ノ裏面ニ白味ヲ帶ビル事ハ他ノおとぎりさうノ群ヨリ著シイ。質ハ一體ニ薄イ。

花序ノ花ノ數ハ一般ニ甚ダ少ナイ。最モ多數ノ花ヲ着ケル頂生ノ花序デモ通例 1–7 花デアル。あぜおとぎり*ハ *H. oliganthum* ナル學名ノ如ク 1–3 花位ガ普通デアルガ時ニソレヨリ多クナル事モアル。みやこおとぎりモ 3–7 花位

* 印ハ變種名デナク多クノ變種ヲ含ム種全體ニツイテイフ事ヲ現ス。

ダガ唯ひかげおとぎりハ 15 位ニナル事モアル。コレハたこあしおとぎりニ近イ事ヲ示シテヰル。特別ナノハたこあしおとぎりデ一花序デ31花位ニモナルホドデアル。(Fig. 11, d)。上部ヨリ六節位マデ花序ヲツケルト總樣ノ全體トシテノ花序ヲ示シ、たこあしおとぎり *H. penthorodes* ナル名ガ肯ヅケル。卽チ花序ハ *Penthorum* (たこのあし) ニ似ルト云フ。何レノ種モ典型的ナ二枝聚繖 Dichasium デナク單枝聚繖 Monochasium 故, 花ノ數多イトキハ花序ハ甚ダ長クナル。勿論最初ノ出方ハ二枝聚繖的デアルシ不規則ニナル事モアル。花序ノ枝分レノ度數ヲ n トスレバ通常ノ *Hypericum* ハ典型的ニハ二枝聚繖ナル故 $2^{n+1}+1$ ナル花數ヲ示スニ對シコノ群デハ $1+2n$ ナル花數デアル。**萼**ハ 3-4 mm ガ普通デさはおとぎりノ大キナ萼ハ 5.5 mm ニ達スルシ又あぜおとぎり* デハ 5-8 mm トナル。萼ハ往々苞狀又ハ葉狀トナリ大キクナリソノ腺體モ葉ニ似ルガコレハ變形ト見テ差支ヘナイ。萼片ニ大小ノ差アル事ハ他ノ *Hypericum* ヨリ著シイ。長楕圓狀披針形又ハ長楕圓形ヲナシいわておとぎり、たいわんあぜおとぎりハ割ニ短カク楕圓狀ヲナスヤウデアル。先端ハ皆鈍頭又ハ稍〻鋭頭ヲナス。**花瓣**ハ 3.8-7 mm ノ長サデさはおとぎり*、やくしまおとぎり*ハ凡ソ 4-6 mm たこあしおとぎりガ 6 mm、みやこおとぎり*あぜおとぎりガ 7 mm 位デイヅレモ通例ノ *Hypericum* ヨリ小サイ、但シくろてんあぜおとぎりハ 10 mm 位ニナル。何レモ主脈ガアマリ隅ニヨツテヰナイ。脈ハ一體ニ枝分レガ少ナイ。さはおとぎりノ黄色ハ一般ノ *Hypericum* ヨリ薄クレモンイエロート云フ色合デアル又さはおとぎりハ花瓣ガ小サイカラ萼ノ外側ニ出ナイ事ガ普通デアル。**雄蕋**ノ數ハ少クテ皆デ 12-30 位デあぜおとぎりハ之ヨリ多ク 35 位デアル。勿論 3 體ヲナシテヰル。おとぎりさう* ガ雄蕋數約 40、はひおとぎり* *H. kamtschaticum* ガ約 50 ノニ比ベレバ少ナイ事ガワカル。葯モ通常ノ *Hypericum* 卽チ KELLER ノ *Homotænium* 節中デハ小サク約 0.3mm 但シあぜおとぎり* ハ 0.45-0.48 mm 位デアル。**雌蕋**ハ花柱ガ子房ヨリ短イノガ普通デ子房ト花柱ノ比ヲミルトさはおとぎり 0.5-0.7, たいわんあぜおとぎり 0.6-0.9, ながさきおとぎり及ビいわておとぎり 0.6-0.7, やくしまこおとぎり 0.9, くろてんやくしまおとぎり 0.7, たこあしおとぎり 0.7-0.8, あぜおとぎり 0.5-0.6 デアリ 1 ヨリ大ナル比ヲ示スモノみやこおとぎり 1.0, ひかげおとぎり 1.2, まるばおとぎり 1.3, くろてんあぜおとぎり 1.3 デアル。勿論多少ノ振幅ハアルガコノ花柱ト子房ノ比ハ種類ヲ見ルノニ大變ヨイ特徴ナル事ヲ筆者ハ主張スル。コノ比ガ 1 ヨリ以下ナルトキハ一度ハコノ群トノ關係ヲ考ヘテ見ル必要ガアル。但シ通例平地產ノモノガ山ニ登ツタリ小形ニナツタリスル時ハ他ノ群ノモノモ時ニ 1 ヨリ小ナル

比ヲアラハスモノガアル。コノ比ハ咲イタ花デ見ナケレバナラヌ。蕾ヤ實ニナリカヽツタモノデ見テハ誤ル。弟切草ハ一日性ノ花デアル故コノトキノ寸法ガ



1–5: さはおとぎり (*H. pseudopetiolatum* var. *typicum*). 6–10: あぜおとぎり (*H. oliganthum* var. *typicum*). 1, 8: 花瓣 Petala (×10). 2–3, 6–7: 萼片 Sepala (×10). 4, 9: 葯 Antherae (×25). 5, 10: 子房横斷 Ovarii (×15). 11: 果序 Fructificatio ノ模式. a, b, c ハコノ群ノ通常型, d ハたこあしおとぎり (*H. penthorodes*) ノ果序.

總テニ於テ必要デアル。人ニヨツテハコレノ代リニ蒴果ノ長サトソノ時ノ花柱ノ長サノ寸法ヲ述ベルモコレハ割ニ相違アツテヨクナイ。子房ト花柱ノ比ノ一定ナル事ヲ示サウ。さはおとぎりニ於テナルタケ變ツタ色々ナ形ノモノヲ取扱フニ子房ヤ花柱ソレ自身ハ違フガ比ハ大體同ジデアル事ハ表1ヲ見ラレタイ。コヽニ於テ例外トシテコノ表ヨリ取除イタモノハナイ。コレヲ同一個體、同一地方ノモノデ測レバ益々一定シテ來ル。おとぎりさうデハコノ比ガ殆ド常ニ 1.2 デアル。こおとぎり *H. hakonense* Fr. et Sav. ハコノ比ガ 1–1.1 ナノデコノ點ダケデモさはおとぎりヤあぜおとぎりト區別出來ル。さはおとぎりノ胎座ハ横斷面ニ於テ圓ク (Fig. 5)、產地ヲ異ニスル三四ノ生品デ切ツテ見タガ皆ソウデアツタ。やくしまおとぎりモ同ジデアツタ。コレハ一般ノ *Hypericum* (邦產ノ Homotænium) ガかまぼこ型ヲナスノト異ル特性デアル。あぜおとぎりハさはおとぎりニ劣ラズ子房ガ圓ツコイノニヤハリかまぼこ型デアル (Fig. 10)。Greatrex 氏ニヨレバながさきおとぎりトテモさはおとぎりノ如クデハナイトノ事デアルガ筆者ハ未ダ實檢

第 1 表

子房 (mm)	花柱 (mm)	比
2.5	1.8	0.7
3	2	0.7
2	1.7	0.6
2.2	1.3	0.5
2.3	1.6	0.7
2.8	2	0.7
2	1	0.5

第 2 表

和名	葉ノ腺點	蕚片ノ腺體	蕚片邊ノ黑腺	花瓣ノ腺體	花瓣ノ邊緣ノ黑腺
さはおとぎり	明	明線＋明點	點•＋接點•＋有柄	明點•明線•無腺	點＋接點
たいわんあぜおとぎり	明	明線＋明點	點	明點•明線	接點•少數點
ながさきおとぎり	明	明線＋明點	點	明線著シ	接點
いわておとぎり	明＋黑•明	明線＋黑點	點•＋接點	明線＋黑點•黑線	接點
やくしまおとぎり	明•稀黑	明線＋明•黑點	點	明線•黑線點•無點	少數點
みやこおとぎり	黑	黑點•＋明線	點	黑腺•黑點•＋明線	少數點
ひかげおとぎり	黑	黑線＋黑點	點	黑點	接點
まるばおとぎり	黑	黑點	點	黑點	無點?
たこあしおとぎり	黑•＋稀明	黑點•黑線	點＋接點＋有柄	黑點	接點
あぜおとぎり	明	明線＋黑點	點	明線＋黑點	接點
くろてんあぜおとぎり	黑	黑點	點	黑點	接點

スル機會ヲ持タナイ。

腺體ノアラハレヲ次ニ見ル。表2ヲ見ラレタイ。葉縁ニハ黑點必ズアル故コレハ省略シタ。葯ニ球形ノ腺體アル事、子房ニ透明線アル事ハ普通ノ弟切草ニ共通デアル。コノ表ニ於テ明線＋明點ハ明線ト明點共ニアル事ヲ示シ明點•無腺•明線ハ明點ノ事モアリ明線アル事モアリ無腺ノ事モアルトイフ事ヲ示ス。コノ群デ最モ興味アル事ハさはおとぎりノ蕚ニヨク見ラレル有柄ト記シテアルモノデコレハ蕚ノ邊縁ニ柄ガアリソノ柄ノ上ニ腺球ガアルノデアル (Fig. 2, 3)。さはおとぎりニ於テコレハ出ル事モアリ出ナイコトモアツテコレデ種ヲ小分ケ出來ヌヤウデアル。又さはおとぎり* ノ他ノ變種デハいわておとぎりヲ除キ未ダ見ラレナイ。コレハたてあしおとぎりニモ出ル。又コノ群ノ他ニくもゐおとぎり *H. hyugamonatanum*（植物學雜誌52卷190頁參照）ニモ見ラレルガコノ種ハさはおとぎりニゴク近イモノデアル。即チカヽル腺體アレバさはおとぎりトノ關係ガ一般的ニ先ヅ考ヘラレル。勿論外國産特ニ歐洲産ノモノニハコノヤウナ腺體ハ澤山アル。さはおとぎりニ黑腺ノ入ツタモノニいはておとぎりガアル。いわておとぎりノ Type ノ形 (*H. pseudopetiolatum* var. *Muraianum* f. *suberectum*) デハ葉ハ明點ト黑點ヲ混ジ花瓣ト蕚片ハ黑點ト明線アリ、蕚片ノ縁ニハ黑點ヲ接スル。又 *H. kosiense* ハ葉ニ少シク黑點ヲ混ズル事ト葯ガヤヽ大キイ事ヲ除キ他ハさはおとぎりト差ヲ認メラレナイヤウナノデvar. *Muraianum* f. *kosiense* トシタ。又葉ハ明點ノミデ蕚片ヤ花瓣ニ黑腺ノ交ルモノアリコレヲ var. *Muraianum* f. *nigrostriatum* トシタ。即チいはておとぎりデハ多分雜種的傾向カラ黑腺ノ入リ方ガイロイロデソノ差ヲ三品種トシタ。近江三國山ニテ田代善太郎氏 (23 Oct. 1927) ガ採集サレタモノニ叢生セル莖ノアルモノハ葉ニ黑點ノミデいわておとぎり的デアリ、或ル莖ノ葉ハさはおとぎり的明點ノミデアツタ。いわておとぎりハコノ様ニさはおとぎりトみやこおとぎり* 特ニまるばおとぎりノ中間ニ存スルト考ヘラレ、産地ハ全國各地デ稀ナモノデアル。さはおとぎりニ於テハ花瓣ニ黑點ガ接着スル事ガ多ク (Fig. 1) 他ノ群ノモノニモ往々カヽルモノガアルトハイヘ面白イ特性ノ一ツデアル。あぜおとぎりトさはおとぎりトハ兩者トモ葉ニ明點ガアルノデアルガ、ソノ區別ハ葉一枚デモ大體判ル。あぜおとぎりノ葉ハヤヽ莖ヲ包ムヤウニシ明點少ク又ソノ腺點ハヤヽ判然トセズ透明ノ度少ナイ。コレニ反シさはおとぎりハ葉ノ基部細マリ葉柄ノ如クナリ明點ハ穴ヲ明ケタヤウニ判然トシ又多數アル。コレハ伊賀デ植物ニ親シマレテヰル黑川喬雄氏ガ小生ニ述ベラレタ事デアル。昨夏黑川氏ヲ訪レ、あぜおとぎりノ生ヘテヰル場所ニ案内サレ筆者ハ從來ノ誤ガ發見出來、あぜおとぎ

りトさはおとぎりノ關係ガ明カトナリ、コノ小文ヲ綴ル動機トナツタ。

5. コノ群ノ種、變種間ノ關係及ビ分布
(Affinité et distribution des éspèces et des variétés)

さはおとぎり* ハ歐洲ノ *H. humifusum* ニ似テヰル。廣ク分布シ北ハ北海道南部ヨリ（筆者ガ *H. oliganthum* トシテ植物學雜誌 51 卷 737 頁ニ發表セル產地參照）南ハ九州マデ產シ更ニ琉球ヲ飛ビ越エテ臺灣ノ臺北州及ビ阿里山附近マデ產スル。通例山地ノ水濕ノ地ニ產シ さはおとぎりノ 和名ニ似ツカハシイ。おとぎりさう *H. erectum* ト共ニ我國 *Hypericum* ノ代表種デ標品モ非常ニ澤山アツマツタ。相當ノ高度ノ處マデ產スルガ平地ニハ未ダ見ラレナイ。九州西部ニ產スル**ながさきおとぎり**ハ枝ガ壯大デ花瓣ニ明線多イ（植物學雜誌 52 卷 190 頁第 2 圖參照）コレハ *H. pseudopetiolatum* var. *kiusianum* トシタ。ソノ際 *H. kiusianum* KOIDZUMI ハ之ト同ジカモシレヌト述ベタガ其後集マツタ材料特ニ GREATREX 氏採集ニヨル溫泉岳ノモノハ小泉博士ノ御好意デ小生ニ見セテ戴イタ *H. kiusianum* ノタイプノ寫生圖トヨク一致スル。特ニ枝分レガ下方ヨリ順次ニアルトコロナドソツクリデアツタ。コノタイプハ溫泉デ MAXIMOWICZ (1863) ガ採集シタ標品デ更ニ文獻ニ依レバ彼ハコレヲ *H. oliganthum* FR. et SAV. トナシソノ產地ニ ins. Kiusiu, ad pedem vulcani Wunzen, practis. siccioribus トシテ引イテヰル、ソノ際子房ヲ一室デ Bratys 節ニ屬ストシテヰルノハ彼ノ誤デアル。コヽニ於テ *H. pseudopetiolatum* var. *kiusiaeum*＝*H. kiusianum* トナシ得ルト思ハレル。臺灣ニ產スル**たいわんあぜおとぎり**ハ鈴木重良氏ニ依リ *H. taihezanense* トシテ發表サレ、*H. Makinoi* LÉVEILLÉ（あぜおとぎり）ニ最モヨク似ルモ蕚ヨリ長イ花瓣ヲ持ツ故異ナルトノ觀察ヲ述ベラレテヰル。シカシさはおとぎりガ知ラレテヰナカツタタメ之トノ比較ナク、標品ヲ檢シテモ區別ガヨク判ラナイ。シカシ蕚ノ丸ミヲ帶ビル傾向アリ又子房ト花柱ノ比ガヤヽ長ク多少地方的差ガアルト思ハレルノデ *H. pseudopetiolatum* var. *taihezanense* トシテオイタ。琉球ナドヨリさはおとぎりガ見出サレレバ面白イト思フ。**いわておとぎり** *H. Muraianum* ニ就イテハ腺體ノトコロデ述ベタ故コヽデハ述ベヌ。

屋久島ニ產シ *H. yakusimense* KOIDZUMI トシテ發表サレタモノハ小泉先生ノ記載ニ依レバソノ樣子ハこけおとぎりニ似ルモ Homotænium 節ニ屬スル事ヲ述ベラレテヰルガ眞ニコノ植物ハ丈低ク葉モ 4–6 mm 位デ Homotænium 中最モ小サイモノデアル；ソノ美シイ寫眞ハ正宗博士ノ屋久島植物誌ヲ見ラレタ

イ。正宗博士ハコノ植物ガ *H. hakonense* ニ近クコレハ屋久島ガ本州ノ南部ヨリモ北部ノフロラノ近似スル一例トサレテヰル。勿論 *H. hakonense* ニ近イケレドモさはおとぎりト最モ關係深ク花部ハ殆ド變ラナイヤウデアル。只子房ノ割ニ花柱ガ少シ長イヤウデアル。コノ植物ハ屋久島的性質ヲアラハス代表種ノ一ツデアリ變種トモ考ヘラレヌ事ハナイカモシレナイ。和名ハ小泉博士ニ依リみやまこけおとぎり、正宗博士ニ依リやくしまこおとぎりトサレタ。他ニひめこけおとぎりナルモノガ屋久島ニアルノデ**やくしまこおとぎり**ト呼ンデオク。原記載ニ依ルト葉ハ明點トアル。葉ニ黑點アリ蕚ニモ花瓣ニモ明點又ハ明線ノ代リニ黑點又ハ黑線アラハレルモノアリ葉ヤ莖ガ稍ゝ大キイ。種ノ原標品ハ黑腺ノアラハレル方ナノデコレヲやくしまこおとぎり (f. *typicum*) トシ、明腺ノアル普通品ヲやくしまおとぎり (f. *lucidum*) トシタ。さはおとぎりニモ葉ノ小形ノモノアリ forma *parvifolium* こばのさはおとぎりトイヒ近畿ニ産スルガシカシソノ有様ハやくしまおとぎり、くろてんやくしまおとぎりト異ナル。**みやこおとぎり**ハさはおとぎりニ甚ダ近クソノ Type locality ニ於テモさはおとぎりノスグ傍ニ生エテヰル。葉形ハ長ク黑點ノミナル故スグ區別ガ着ク。然ルニ**まるばおとぎり**ハ葉形ガさはおとぎりニ似テヰテ黑點ガアル卽チ最モさはおとぎりニ近イ共ニ内地ノアチコチデ見出サレル。**ひかげおとぎり**ハ鎌倉ノ溝フチデ籾山氏ノ始メテ採集サレタモノデ上ノ二變種ト異ナリ平地デ見ラレタ。コノ植物ハ常ニ小サク二三叢生スル事ガアル。花モ小サイソノ有様ハ筆者ガ *H. umbrosum* トシテ東亞植物圖說第一卷第四號ニ圖解シタ故ソレヲ見ラレタイ。みやこおとぎり* ハ何レノ變種モさはおとぎりト異リ花柱ハ子房ト同長又ハ長ク莖ハ枝分レ少ナク *H. erectum* ニ近クナツテヰテソレト *H. pseudopetiolatum* トノ雜種，又ハ雜種カラ出タモノト考ヘラレル。**たこあしおとぎり**ハみやこおとぎりニ似ルモソノ花序ニ述ベタ如キ特徵ガアル。花柱ノ子房ヨリ短イ事ハさはおとぎりニ甚ダ近イ。蕚片ハ 3 mm 位デ小サイ。原記載ニ Carpella 5 トアルノハ勿論 3 ノ印刷上ノ誤デアル。葉ニ明點アルモノアリめいてんたこあしおとぎりトシタガコノ存在ハ さはおとぎりトノ 關係ヲ示シテヰル。産地ハ羽前、陸前、陸中、岩代、越中、越後、信濃、飛驒、美濃、山城、丹後、丹波等ニ見出サレテ稀ニアルモノラシイ。京都帝大ノ植物教室ニハ多クノ標品ガアル。**あぜおとぎり**ハ平地ニ産シさはおとぎりトおとぎりさうノ雜種ヨリ出タモノラシイガ諸性質ハ固定化シテヰルヤウデアル。産地ハアチコチニアリ平地ニソノ名ノ如ク田ノ畔ナドノ水濕ノ地ニ生ジルガ割ニ稀ナモノデアル。コレニモ *H. erectum* ニ近ク總テニ黑線アラハレシカモ葉形ハあぜおとぎりナルモノガアル。**くろて**

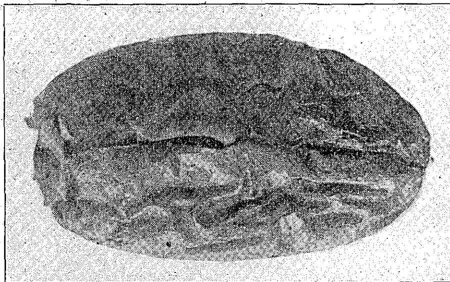
んあぜおとぎり (var. *nigrum*) トシタ。あぜおとぎりハ又こおとぎり *H. hakonense* ニ甚ダ近イガ花柱ノ比ガ違フシ、又あぜおとぎりハ蒴果ガ圓ツコイシ蕚ガ幅廣クスグ區別出來ル。

以上述ベタ如クさはおとぎりガ地方的ニ變化シテヰルモノ九州西部デながさきおとぎり、臺灣デたいわんおとぎり、屋久島デやくしまおとぎり、黑腺ガ入ツテ來ルモノニいはておとぎり、やくしまおとぎり明カニ雜種的デアルモノまるばおとぎりソレヨリヤヽ固定シテみやこおとぎり、ひかげおとぎり、たこあしおとぎり、あぜおとぎりデくろてんあぜおとぎりハ更ニおとぎりさうニ近ク、あぜおとぎりハこおとぎり *H. hakonense* トノ關係ヲ思ハセ、又おとぎりさうガさはおとぎりに近ヅイタモノニ *H. erectum* var. *deviatum* ガアル。歐洲デハ實際雜種ヲ作ツテ研究サレ又一ツノ種ノ變化性ヲ克明ニ檢シタモノアリ細胞學的ニモ知ラレタモノアルモ我國デハ *Hypericum* ニ關スル限リカヽル研究ナク、上述ノ如ク雜種ナラントスルモ想像ニ過ギヌガ種類間又變種間ノ關係ガ幾分ナリトモ明カニナレバ幸デアル。最後ニ筆者ノ研究ヲ御指導下サル中井先生ニ感謝致シマスト共ニ標品ヲ研究スルヲ許サレマシタ北海道、京都、臺北ノ各帝國大學ノ諸先生、標品ヲ送ラレル諸氏ニ御禮ヲ申シ述ベル次第デス。

中華ノ稀覯生藥雜記（其二）

石戸谷　勉

T. ISHIDOYA: Miscellaneous Notes on Chinese Materia Medica (II)



第 6 圖 *Phœnix dactylifera* ノ實ヨリナル藏紅棗 (×ca. 1)

11) **藏紅棗**　朝鮮、滿洲ノ藥舖ニ棗ヲ求ムルトソノ生藥ハ常ニ *Zizyphus* ノ果實ヨリナルモノデ、紅棗ト稱スル品ハ特ニ果皮ニ光滑ガアリ、樹上ニ永ク成熟セシメタモノダト云ハレテヰル。余ガ昨夏蒙疆ノ包頭ノ藥舖カラ來リタルモノニ藏紅棗ト稱スルモノガアル。西藏カラ來タ棗ト云フ義デアル。